

11月26日(木) 会津大学学際研究フォーラム 2026

公立大学法人 会津大学
先端情報科学研究センター (CAIST)
AI センター (AI Center)
宇宙情報科学研究センター (ARC-Space)



テーマ

AIエージェントとフィジカルAIの全方位的な拡散：自己改善するAGI時代に向けた産学の対応
－ 知能と実体が融合した社会における大学と産業界の新たな役割 －



↑最新情報はこちら

会場

会津大学 講堂

事前申込不要。当日直接会場へお越しください。

第一部：研究センター・クラスター成果発表 本学の現在：会津大学の挑戦と研究最前線

09:00 -	開会あいさつ	会津大学理事長兼学長 東原 恒夫
09:05 - 09:55	研究センター プレゼンテーション 人の暮らしに貢献する画像認識技術の実現を目指して ロボティクスのためのソフトウェア工学：仮想ロボットと実ロボットによるテスト ARC-Space 3 本柱：月惑星探査アーカイブデータサイエンス、深宇宙ミッション、そして月火星箱庭プログラム 質疑応答	【ビジョンクラスター】奥山 祐市 【ロボット情報工学クラスター】成瀬 継太郎 【宇宙情報科学研究センター】出村 裕英
09:55 - 10:05	休憩	
10:05 - 11:25	ベーシッククラスター プレゼンテーション エッジAIで切り拓く、地域と宇宙の未来 宇宙探査ローバー技術を使用した3次元地質マップ構築法の研究 B5G・6Gにおける非地上系ネットワーク (NTN)：アーキテクチャ、要素技術、および今後の展望 次世代交通のためのナレッジグラフ Society 5.0からIndustry 5.0へ：検証済み知識に基づく自律型データサイエンス 質疑応答	【エッジAI】富岡 洋一 【宇宙探査技術】山田 竜平 【統合計算通信プラットフォーム】ファン トゥアン アン 【知的交通システム】ラゲ ウダイ キラン 【自動AIシステムデザイン】アキラ シリウィーラ
11:25 - 12:25	ベーシッククラスター ポスタープレゼンテーション ・知識中心の人とコンピュータの協働 ・AIとサイバーセキュリティの融合：知能システムの信頼性を築く ・省電力で持続可能なコンピューティングのためのニューロモルフィック・インテリジェンス ・データサイエンスを通じた産学連携と人材育成 【スマートデザイン】吉岡 廉太郎 / 小平 行秀 / 西舘 陽平 【情報セキュリティ】中村 章人 / スー チュンホワ / 可知 靖之 【持続可能なコンピューティング】ダンナム カイン / 鈴木 大輔 / ワン ジーシャン 【データサイエンスとエンジニアリング】橋本 康弘 同時開催 IEEE Student Branch主催 大学院生ポスター発表（大学院フェア） 座長：白 寅天(会津大学 研究科長) / 慎 重弼(会津大学 教授)	

詳細はこちら⇒



12:25 - 13:25 昼休憩

第二部：招待講演・パネルディスカッション 世界の変化：AIが拓く未来社会への展望

13:25 - 14:25	基調講演	 F-REI研究開発のフィジカルAI活用への挑戦 福島国際研究教育機構(F-REI) 理事長 山崎 光悦 氏
14:25 - 15:05	特別講演1	 自律する知能に信頼を実装する- AIエージェントとフィジカルAIのための Intelligence × Integrity - MH2 代表 久田 雅之 氏
15:05 - 15:45	特別講演2	 生物由来信号を取り込む基盤モデルを目指して 東京農工大学 大学院工学研究院 知能情報システム部門 教授 田中 聡久 氏
15:45 - 16:35	パネルディスカッション AIエージェントとフィジカルAIの全方位的な拡散 自己改善するAGI時代に向けた産学の対応 － 知能と実体が融合した社会における大学と産業界の新たな役割 －  久田 雅之 氏・田中 聡久 氏 株式会社まもりえ 代表取締役 田中 朝哉 氏 座長：会津大学 上級准教授 齋藤 広幸	

- 16:40 閉会あいさつ

会津大学研究科長 白 寅天



参加：無料

言語：日本語(一部英語)※通訳なし

《お問い合わせ》会津大学 事務局 企画連携課 企画係
電話：0242-37-2510 E-mail：cl-planning@u-aizu.ac.jp



会津大学学際研究フォーラム 2026 講演概要

AIエージェントとフィジカルAIの全方位的な拡散

：自己改善するAGI時代に向けた産学の対応

－ 知能と実体が融合した社会における大学と産業界の新たな役割 －

過去に開催したフォーラムでは、大規模言語モデル(LLM)を基盤とするAIエージェントの可能性について、多角的な視点から議論しました。

現在、AIはデジタル空間で情報を処理する技術から、ロボティクス、製造、モビリティ、社会インフラなど、現実世界で自律的に判断・行動する「フィジカルAI」へと発展しています。AIエージェントとフィジカルAIの全方位的な拡散により、知能と実体が融合する社会は、もはや遠い未来の概念ではなく、現実の変化として進行しています。

こうした変化は、産業の生産性向上や新たな価値創出をもたらす一方で、産業構造、働き方、人材育成、そして大学と産業界の役割にも大きな転換を求めています。自己進化するAGI時代を見据え、技術の発展を社会の価値へつなげるためには、分野や組織を越えた連携が不可欠です。

本フォーラムでは、本学研究センターによる最新の研究成果紹介を通じて本学の現在を共有するとともに、招待講演やパネルディスカッションを通じて、AIがもたらす社会変革と、大学・産業界が担う新たな役割について議論します。本フォーラムが、新たな共同研究や連携の創出につながり、AIと共に発展する未来社会の実現に向けた知の交流と協働の契機となることを期待しています。

招聘講師紹介

山崎 こうえつ 光悦氏

富山県小矢部市出身。金沢大学大学院工学研究科修士課程修了。工学博士(大阪大学)。金沢大学学長などを歴任し、2023年4月、福島国際研究教育機構(エフレイ)初代理事長に就任。「日本の科学技術をけん引し、世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」を目指す」と、エフレイの将来像を思い描く。

久田 まさゆき 雅之氏

博士(コンピュータ理工学)。MH2代表、会津大学客員教授。会津大学第一期生・同大学初の博士。会津ラボ(2014年に東証上場企業が買収)、会津コンピュータサイエンス研究所を創業。現在はAIガバナンスとハードウェアセキュリティを軸に、自律型AIへ信頼を実装する技術を開発。IEEE Senior Member、IEEE CS Distinguished Visitor(2026–2028)。

田中 としひさ 聡久氏

1997年東工大電気・電子卒。2002年同大学博士後期課程修了、博士(工学)。その後、理化学研究所研究員を経て2004年より東京農工大学に勤務。現在、同大学教授、評議員。信号処理、機械学習、生体計測とその応用の研究に従事。2017年～2023年JST CREST「人工知能」領域研究代表者、2024年～現在JST CRONOS研究代表者。現在、IEEE Signal Processing Society Tokyo Joint Chapter Chair、IEEE ICASSP 2028 General Chair、およびIEEE Signal Processing LettersのSenior Area Editor。

田中 ともや 朝哉氏

京都大学経済学部卒。ジョージア工科大学コンピューターサイエンス修士(人工知能専攻)取得。経済産業省にて政策立案に従事し、中国駐在を経験。ソフトバンクでは、自動運転の社会実装に加え、AIモデルおよび電波センシングに関する研究開発に従事。2026年5月、木造住宅の早期異常検知システムの開発・実装を目的として、株式会社まもりえを設立。



研究センター・クラスター 成果発表 キーワード



月惑星探査アーカイブサイエンス / サイバーフィジカルシステム / エージェントAI / 機械学習 / 回路設計 / パターン認識 / 高次元データ可視化 / 創造支援 システム / ビッグデータ / リモートセンシング / サイバーセキュリティ / パターンマイニング / AIエッジデバイス / ニューロモルフィックAI / 医療工学 / データサイエンス / ハイパフォーマンスコンピューティング / 量子コンピューティング応用 / 6Gネットワークコンピューティング / スマートデザイン / 産学連携 / 共同研究